

用排水施設整備事業 郷用水第3地区

事業目的

手取川七ヶ用水（郷用水）は、昭和40年代にかけて整備されたが、近年、施設の老朽化による機能低下に加え、都市化により洪水被害が発生しており、早期の整備が求められていた。

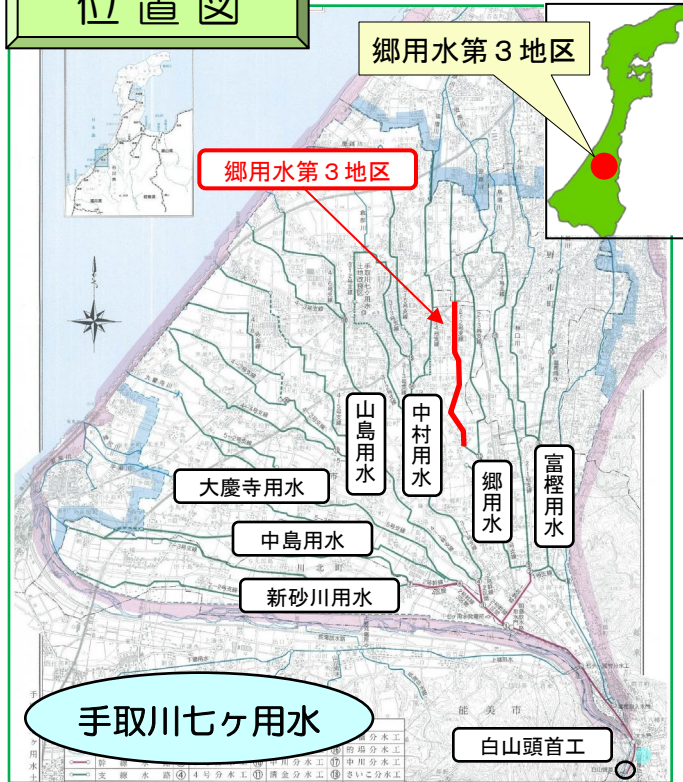
また、防火・消雪用水など用水の持つ多面的機能の発揮により、地域に親しまれる施設として保全していくことが必要であった。

このため、水路の改修により、農業用水の安定供給及び洪水被害の防止を図るとともに、多面的機能の発揮を図り、農村地域の活性化を図った。

地区概要

- 箇所名：石川県白山市木津町外12町地内
- 施設概要：水路工 L=3,300m
- 総事業費：1,027百万円
- 受益面積：142.9ha
- 事業期間：平成27年度～令和元年度

位置図



写真で見る事業効果

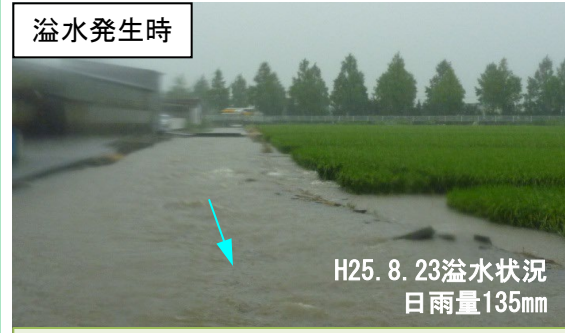


水路断面が小さく、老朽化していた



水路断面を大きくし、流下能力が向上

※R7.8.7 日雨量228mmでも洪水被害なし



洪水発生時

H25.8.23洪水状況
日雨量135mm

豪雨時に洪水被害が頻発



営農状況の変化

白山ねぎ

洪水被害の防止により
ねぎの栽培が行われるようになった。

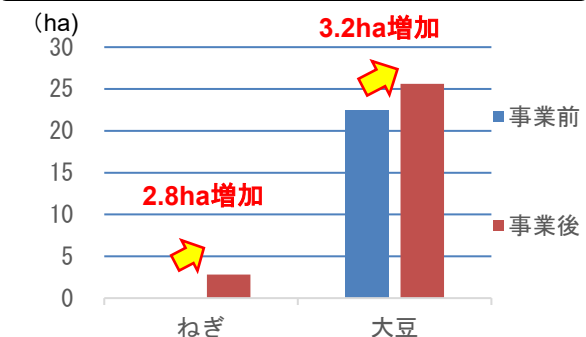
数字で見る事業効果

本事業の実施により洪水被害が軽減されることによって、「ねぎ」「大豆」のような高収益作物の作付面積が増加し、作物生産効果の増大が確認された。

◆ 本事業を実施後の周辺住民の声

- ・用水があふれなくなった
- ・昨今の豪雨災害時の頻発を考えると、このタイミングで行ってもらえた事が良かった

事業実施後の営農状況



評価結果

事業の実施により、農業用水の安定供給が図られるとともに、水路の流下能力が向上し、これまで豪雨時に発生していた洪水被害が生じなくなったことで高収益作物の作付が増加するなど、農業生産性の向上が図られた。

また、豪雨時に洪水被害が生じないことで、周辺地域の安全性の確保も図られた。

今後の取組

整備された施設については、定期的な点検を実施し、将来にわたって農業用水の安定供給や排水機能が適切に維持されるよう、県としても補助事業を活用し、施設管理者を支援していく。

郷用水第3地区

